



うるま市民の健康増進を目的に、2018年11月、うるま市健康福祉センター「うるみん1階」に新しい運動施設がオープンしました。今回は、フィットネスセンター開設の立役者であるうるま市民部の当間重俊部長と、美里直樹課長に、うるま市民健康増進への思いを伺いました。

うるま市だけでも毎年、千から千百人の方が亡くなっており、その死因の多くが生活習慣病によるものです。そのなかでも65歳未満はなんと200人前後と、働き世代の死亡率は5人に1人という割合。働き盛りの病は、家族の経済状況にも大きな影響を及ぼします。医療費の負担は、生活の困窮や、子どもの貧困にもつながり負の連鎖を生み出します。そこで市民部が取り組んだことのひとつが、市民の生活習慣を見直すサポート体制を整えること。規則正しい生活リズムを推進することはもちろんのこと、定期健診や予防接種率の向上に加え、運動習慣の大切さを知ってもらい、病気になるにくい身体づくり＝未病への取り組みに励んでいます。



今回お話を聞いた方
うるま市役所市民部・健康支援課
美里直樹課長(左)・当間重俊部長(右)

日頃よりトレーニングジムに通いウォーキングマシンで汗を流すほか、海沿いを散歩するのが趣味という当間部長。そして各種マラソン大会等に毎年参加することで体力維持をはかる美里課長。ともに運動の楽しさを味わい、市民の健康促進に努めている。

うるみん1階に本格的な
フィットネスセンターがオープン!!

「うるみんフィットネスセンターは料金も手軽に利用できるもので、特に働き盛りの世代に、運動の大切さや楽しみを実感してもらいたい。どんなに長生きしても、健康でなければ生きる楽しみも薄れてしまいますよね」と美里課長。また、「ひとりでは続けにくい運動も、家族や職場の人を誘い楽しみながら継続してほしい。ひとりひとりが健康に対する意識を高めていくことが、いきいきとしたまちづくりにつながります」と当間部長。おふたりともに、うるま市民の健康増進に向けて、熱い思いで取り組んでおられました。豊かな暮らしにつながる健康づくりのために、みなさん自身や身近な仲間との運動習慣を見直してみませんか?



1/17 日頃の感謝の気持ちを込めて「ありがとうの手紙」作文コンクール表彰式

『第13回「ありがとうの手紙」作文コンクール』(うるま市青少年健全育成協議会主催)の表彰式が生涯学習・文化振興センターゆらてくで行われました。

同コンクールは、家族や友人、自然動物等に対する日頃からの感謝の気持ちをつづった作文コンクールとなっており、今回は、市内小中高校などから282点の応募があり、入賞した58人の児童生徒に賞状が贈られました。

1/15 スイーツコンテスト Tarté 1グランプリ 準グランプリ受賞 山城新和さん

洋菓子のタルトの日本一を決定する「第7回スイーツコンテストTarté 1グランプリ」において、見事、準グランプリを受賞した山城さん(ルネッサンスリゾートホテル勤務・宇栄野比在)が報告のため、市役所を訪れました。

受賞した作品は、パッションフルーツをカットした断面をイメージして仕上げた南国の雰囲気たっぷりのタルトです。

山城さんは、「作品完成まで3カ月間かかった。ぜひ、皆さんに食べに来てほしい」と述べました。

報告に訪れた山城さん(左)

受賞作品

1/29 沖縄の新たな物流モデルの構築へ「第1歩」 外航貨物船の定期寄港に向けた初の実証実験

中城湾港新港地区(東ふ頭)の国際物流の拠点化を目指し、外航貨物船の寄港、荷おろしから通関、荷主への配送までを同地区内で一貫して行う実証実験が行われました。

県内の物流拠点は那覇に集中しており、うるま市に立地する企業の多くは那覇港や那覇空港を利用してのが現状です。同地区に貨物船が寄港すれば、輸送時間の短縮など物流コストの削減が図られ、物流の効率化と立地環境の向上に繋がります。

市ではこの実証実験を通じて事業効果や課題を洗い出し、今後の企業支援策や振興施策の検討に向け、取り組んでいきます。

貨物船から輸送トラックへと積み荷が運ばれる様子(東ふ頭)

1/18 岩崎宏美さん・宗次郎さんと市内4合唱団総勢69人共演

『宝くじまちの音楽会 岩崎宏美with 宗次郎』が市民芸術劇場にて開催されました。

同コンサートでは、歌手の岩崎宏美さんとオカリナ奏者の宗次郎さん、市内で活動する4つの合唱団(混声合唱団クリスタルコールうるま「コールグリーンハーモニー」「コールシクラメン」)による共演などもあり、会場を埋め尽くした多くの観客は、その歌声とオカリナの音色に魅了されていました。

岩崎宏美さん・宗次郎さんと共演した合唱団の皆さん

宝くじの助成金で整備 志林川区自治会公民館 完成

老朽化により、地域の方々から建て替えが切望されていました志林川区自治会公民館が1月に完成しました。

(一財)自治総合センターの社会貢献広報事業として宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業を活用し志林川区自治会公民館は建設されました。

舞台やホール、調理実習室、備品倉庫等を備えており、地域の交流拠点として、今後の地域活動に大いに活用されることが期待されます。

新築した志林川区自治会公民館